



クローバー

山形市立第十小学校 学校だより 令和7年2月20日

令和6年度委員会活動が終了！5年生に引き継がれました



先日のお昼の放送で、こんなメッセージが流されました。「代表委員会で、児童会目標の『元気、仲良く』を達成することができたかについてみんなで話し合いました。健康に過ごせた、元気に遊べた、困ったときに助け合えた、仲良く協力できたという意見がある一方で、人の嫌がる言葉が聞こえることがあった、友達に優しくできないことがあった、譲り合えなかったという意見も出されました。よかったところは更に伸ばし、もう少しのところは直せるよう、十小みんなで頑張っていきましょう」

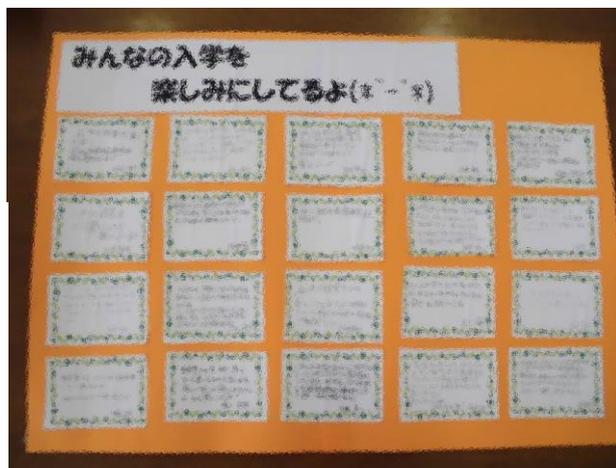


校舎に「元気、仲良く」の児童会目標が掲げられ、早いもので1年の月日が経ちました。委員会活動は、自発的・自治的に活動する中で、異学年の子どもとの人間関係を形成したり、責任感や協調性を養ったり、チームワークの大切さを学んだりすることをねらいとしています。これまで6年生は、リーダー

として本当によく頑張ってきました。4月からは6年生の姿をお手本に、5年生が学校全体をリードしていくこととなります。新1年生を加えた全校児童で力を合わせ、さらによい十小を創っていってくれることに期待したいと思います。

もうすぐ中学生！卒業までのカウントダウン始まる！

進学先の中学校の先輩から、6年生に入学を待ち望んでいるという内容のメッセージが届きました。卒業記念のオルゴールを作成したり、感謝の会の企画運営の準備をしたりと、大忙しの6年生。教室にはカウントダウンカレンダーも掲示されています。卒業式に向けての歌の練習も始まりました。6年生の合唱指導の講師の先生は、例年ご指導を仰いでいるNT先生です。日に日に歌に魂が込められていくように感じます。このメンバーと一緒に過ごすことができるのもあと少し。歌詞に込められた一つ一つの言葉をしっかりと胸に刻み、80名心を一つにして素晴らしい合唱を創り上げてほしいと思います。



お忙しい中、授業参観ありがとうございました



保護者の皆様、2月14日の授業参観並びに学級懇談会にお越しいただきありがとうございました。お家の方がいらっしゃるということ、子どもたちは朝からそわそわしていました。学校でのお子様の学びの姿はいかがだったでしょうか。今後も引き続き、子どもたちの育ちを、ともに見守っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

助産師のKI先生による「いのち」の学習を受けた4年生の感想を紹介します！

- ・わたしの命はきせきなんだなと感じました。赤ちゃんの人形は想像以上に重たくて、お母さんはこんなに重たいわたしをずっとおなかの中に入れていたのだから本当にすごいと思いました。わたしは命をととても大切にしていこうと思いました。
- ・ぼくはこれまで「いのち」のことをあまり知らなくて、ふざけてひどい言葉をつかったりしていたけど、この学習で「いのち」のことをいっぱい知ったので、「いのち」をもっと大切にしていこうと思いました。
- ・自分のいのちは世界で一つしかない大切ないのちだと思いました。自分が生まれる前、たくさんのお母さんやお父さんやおばあちゃんやおじいちゃんやおばあちゃんを乗り越えて生まれてきたとわかり、自分もお母さんもお父さんもおばあちゃんやおじいちゃんやおばあちゃんもがんばったんだなと感じ、なんだかうれしくなりました。この学習を通して、自分の未来が楽しみになりました。
- ・ぼくたちが生まれてきたのはきせきという言葉が心に残りました。ぼくたちは、ちがう人として生まれていたら、出会わなかったかもしれません。ぼくは、人をばかにしてはだめだということがわかりました。
- ・それぞれのお母さんの悲しみや苦しみ、うれしさなどの感情を知って、赤ちゃんはすごいという気持ちで心がいっぱいになりました。これからは人のいのちをいつも以上に大切にしたり、自分が話す言葉に気をつけたりして過ごしたいと思いました。
- ・個人差があっても、今生きていることをすごいことだと思って、一日一日を、みんなを、大切にしていきたいと思いました。
- ・自分が生まれてくるのが宝くじより低い確率だということが分かったので、もっと自分や周りの人を大切にしようと思いました。お母さんにありがとうございました。
- ・お母さんやお父さんが生まれなかったらわたしは生まれていなかったり、おじいちゃんやおばあちゃんがいなければお母さんもお父さんもいなかったと感じた。今いる人たちのありがたみが大きくなり、前より人をもっと大事にできそうです。
- ・お父さんとお母さんに「うんでくれてありがとう」と言いたいです。

※ 授業内容の詳細は、ほけんだより「げんきいっぱい」(R7.2.25発行)をご覧ください。